

みやぎSDGs Farm



みやぎSDGsファーム

国連が提唱する「SDGs(持続可能な開発目標)」を軸に企業や個人が連携し、より豊かな地域づくりを目指す取り組み「みやぎSDGsファーム」の基幹プログラムです。SDGs活動を推進する人材「みやぎSDGsアンバサダー」を養成するなど、2021年から河北新報社が運営しています。



詳しくはこちらから

賛同企業
募集中!!

[申し込み・問い合わせ]

河北新報社営業局

TEL. 022-211-1318

☑ koukoku@po.kahoku.co.jp

祝「みやぎSDGsアンバサダー」認定！ 「わたしのSDGs活動宣言」Vol.16



自身の業務に「リバーシブル思考」をもって企画・制作に務め、パートナー企業

業のサービスに一人でも多くの生活者が触れ、豊かな営みが続くことを目指します。

「リバーシブル思考」とはBCP(事業継続計画)の取り組みを拝見した際、災害時だけでなく、その取り組み姿勢を広く捉え、業務に生かせないかと感じたことが始まりです。ある課題解決が必要な時、妥当な施策Aとその裏を意図した施策Bを用意するイメージです。

例えば折込チラシをA面、デジタルチラシをB面とします。このときB面の価値は場所を選ばず、かつセール期間中に再通知が可能です。折込なら2回分の価値を生み



「Chalredo (チャレド)」を通じて、「働くきがいも経済成長も」の目標達成を目指す。

指します。

「Chalredo」とは、チャレンジドジャパンのデザイン事業です。全国の福祉施設と連携し、描くこと・表現することが好きな人が、心赴くままに描いたイラストをデザイン素材として販売しています。

私のお気に入りにはポスターです。パッと目を引くおしゃれで多様なデザイン。月ごとにガラリと雰囲気が変わり、オフィスが華やかになりました。付属のプレートには、障がいのある製作者、デザイナーの作品に対する思いが記されています。

ポスター販売で得た売り上げの10%は、



「頑張れ！家！」東日本大震災のときに、中学生の私が揺られながら口をついて出

た言葉です。

当時は築15年。特別古い家では無くとも幼心に壊れるのではないかと心配したものでした。あれから何度か大きめの地震を経験していますが、ありがたいことに何事もなく住むことができています。

耐震をどうでも良い、と考える日本人は少ないと思います。地震大国の日本で耐震性は重要なことですが、耐震性を上げるには具体的にどうしたらいいのかというものは分からないのです。

自分しか住まないと考えていても死ぬまでは壊れないように建って欲しい



今住む人も次に住む人も

スイコー 赤根早咲さん

ずれ子供に孫に継がせるつもりだけど負債になるような建物であって欲しくない、建物にはさまざまな住む方の願いが込められています。

弊社は「住替え可能な住まいづくり」を目標の一つにしています。子孫に引き継ぐにしても自分が住み替えをするにしても、今まで住んできた人も次に住む人も安心して暮らせるような価値ある家であってほしい。

大事な人を守ってくれる家。お客さまのためにも自分のためにも、正しい方法で家を維持管理ができるように情報を提供し、専門的な分野は安心して任せていただけるように取り組んでいます。

アートの秘める可能性、全国へ

チャレンジドジャパン 庄子早紀さん

障がいのある製作者に還元されます。パーツを描く人、パーツを使用してデザインする人、組み合わせ次第で無限の可能性があります。

今後は、全国のデザイナーにポスター制作を依頼していきたいです。より多くの人にポスターをご覧になっていただくことで、障がい者アートの可能性を示していきます。ポスターのテーマは一貫して「The challenged」です。

障がいがあってもなくても、重くても軽くても、誰もが何かしらの困難を乗り越えてきた「challenged」であることを提示し、目標達成に貢献します。

「リバーシブル思考」課題解決はA・B面で

DNPコミュニケーションデザイン 矢島迅人さん

フルデジタルですから瞬発力が高く、情報伝達力は折込に及ばずとも小さくはないでしょう。ポイントはその情報伝達手法に機能拡張があり、印刷物と比べ低コストであることです。コストが低いということは少ない資源量で済みます。

手法自体は既存のサービスですが価値というのを見出すことが大切だと「みやぎSDGs塾」で学びました。

人々がモノを手に豊かな表情で遊び、悩み、語らいます。印刷業として、企画職として、私個人として、みやぎSDGsアンバサダーとして、提供できる価値から実践します。

